

第  
56  
回

# 日本伝統工芸富山展

平成29年 5月18日(木)～6月4日(日) 月曜日休館

午前9時30分～午後5時(入場は4時30分まで) 5月18日(木)は午前10時30分から



第55回日本伝統工芸富山展 日本工芸会賞  
「乾漆合子」 樋川 都市 作

主催 (公財)高岡市民文化振興事業団 高岡市美術館 / (公社)日本工芸会富山支部 / (公社)日本工芸会 / 北日本新聞社

後援 文化庁 / 富山県 / 富山県教育委員会 / 高岡市 / 高岡市教育委員会 /  
NHK 富山放送局 / 北日本放送 / 富山テレビ放送 / チューリップテレビ /  
富山エフエム放送 / とやまソフトセンター

観覧料 一般800円(640円) / シニア640円 / 大学生500円(400円) / 高・中・小生 無料

○( )内 団体料金 20名以上

○シニアは65歳以上

○身体障がい者・精神障がい者保健福祉・療育の各手帳所持者及び付添いの方(1名)は半額です。手帳をお持ち下さい。



高岡市美術館

〒933-0056 富山県高岡市中川1-1-30 TEL 0766-20-1177

URL <http://www.e-tam.info/>

## 趣 旨

伝統工芸は単に古いものを模倣し、従来の技法を墨守することではありません。受け継いだ優れた技術を一層錬磨すると共に、現代に即した新しいものを築き上げることが、我々に課せられた責務であると信じます。

公益社団法人日本工芸会富山支部は1961年に北陸支部より独立し5回展より公募制を導入し、毎年開催しており今回で56回を数えます。

第56回 日本伝統工芸富山展は、金工・漆芸・木竹工・陶芸・染織・人形・諸工芸、計7部門の公募作品・受賞作品に加え、重要無形文化財保持者(人間国宝)を含む全国著名作家の作品を一堂に展示します。

## 開会式

5月18日(木) 午前10時～ エントランスホール

## 講演会

5月27日(土) 午後3時～4時30分 地階ビトークホール  
演題：「金工からみた日本の工芸」  
講師：村上 隆 (高岡市美術館館長)

## 列品解説

各々午後2時～3時

5月20日(土) 金 工 (佐野 宏行)・漆 芸 (今井 宗潤)  
21日(日) 木 竹 (細川 毅)・陶 芸 (金田比陶美)  
27日(土) 染 織 (山下 郁子)・諸工芸 (佐野 猛)  
人 形 (平岡 彰子)  
28日(日) 金 工 (畠 春齋)・漆 芸 (内島 正雄)  
6月3日(土) 木 竹 (米道 正幸)・陶 芸 (石井 秀山)  
4日(日) 諸工芸 (長岡由美子)・染 織 (秦 志寿)  
人 形 (平岡 彰子)

## 会期中同時開催

(公社)日本工芸会富山支部会員小品展  
地階ミュージアムショップ

手わざ - 伝統工芸 -

村上館長と富山支部会員のトークショー

5月26日(金) 午後1時30分～3時

御旅屋セリオ6階特設会場 (高岡大和)

お問い合わせ先：0766-27-1850

## 一本展の公募について

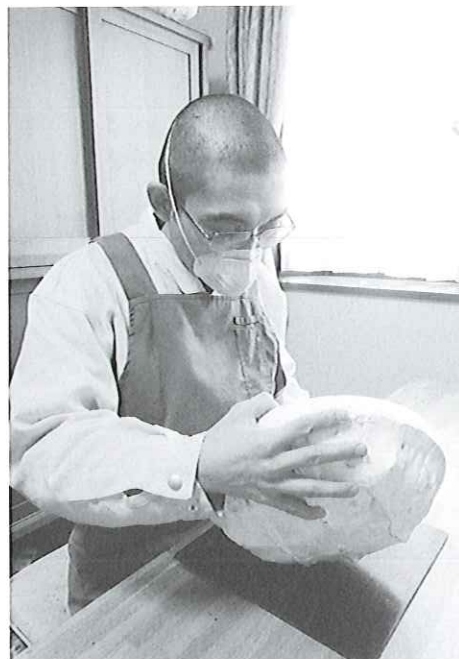
出展は未発表の作品に限ります。詳しくは公募要項をご覧ください。要項は、高岡市美術館内 日本伝統工芸富山展事務局よりお取り寄せいただくか、右記より富山支部公式Facebookでもご覧いただくことができます。作品送付に先立ち、事前の出展申し込みが必要です。

## 審査員

小森 邦衛 重要無形文化財保持者(漆芸)  
(公社)日本工芸会 常任理事  
中川 衛 重要無形文化財保持者(金工)  
(公社)日本工芸会 常任理事  
村上 良子 重要無形文化財保持者(染織)  
(公社)日本工芸会 常任理事  
川北 良造 重要無形文化財保持者(木竹工)  
(公社)日本工芸会 参 与  
白幡 明 (公社)日本工芸会 理 事  
硝子作家  
中田 一於 (公社)日本工芸会 理 事  
陶芸作家  
村上 隆 高岡市美術館 館 長

順不同 敬称略

## ～工房探訪～



### 「乾漆」技法での作品の制作

型に漆で布を貼り重ねてかたちにします。

「乾漆」の技法の特徴は自分の想いの作品を正確に自由な形で表現できることです。

この技法の代表的なものは  
奈良県・興福寺の阿修羅像です。

漆芸部門 樋川 都市さん (前回日本工芸会賞受賞者)



日本工芸会富山支部および会員、また伝統工芸に関するいろいろな情報を発信してゆきます。  
日本工芸会富山支部公式 Facebook ページ  
<https://www.facebook.com/kogeiToyama/>